

避難器具について（**垂直式**救助袋）



※ **関西創価小学校**にて避難器具（救助袋）を使用した訓練指導を実施しました！

1.使用方法（上部側のみで設定可能）



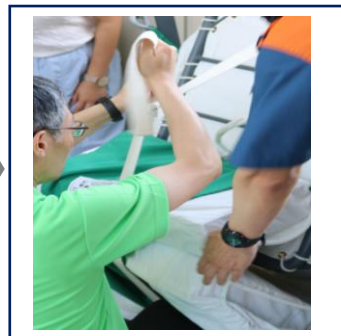
設定方法



設置場所（常時）



開閉扉を**完全**に取り外す



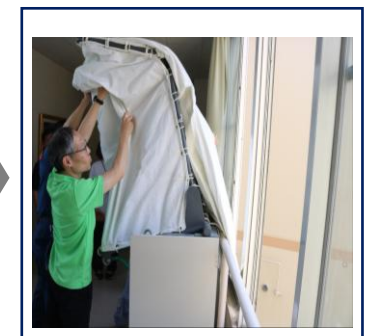
バンドロックを外す



砂袋を**投下**する



袋を滑らせて降下していく
※**降下地点に注意**する



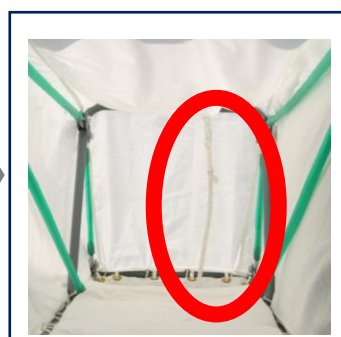
籠を出す
※ワイヤーを持つ
※手の挟みに注意



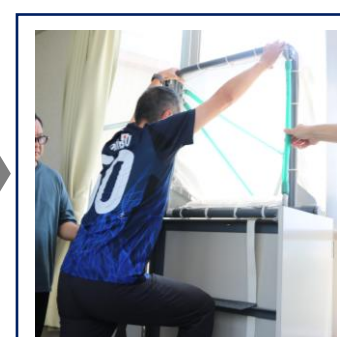
籠を完全に開放する
※赤丸のフレーム部分が
閉鎖しているため



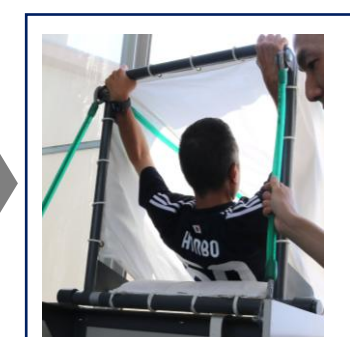
上部の設定完了
※赤丸の部分は**階段（ステップ）**



入るとすぐにロープがある
（※ウォータースライダーの感覚）



避難開始



必ず足から入ること



脱出完了！！

2. 訓練指導

⚠ 樋口係長による救助袋の取扱い説明および訓練指導



今回の現地での指導を振り返って…

有事の緊迫感を想像させ、お一人おひとりに、「当事者意識」が強く芽生えるきわめて有意義な場となりました。学校関係者の皆さまも最終的に15名以上お集まりください、最後まで本当に真剣な眼差しで耳を傾けて下さいました。都内での火災事案以降、先生方が抱えていた「いざという時の不安」の解消に大きく繋がったと確信しています。樋口係長、「心に響く指導」をありがとうございました！

避難器具 の目的

火災のときに、階段を利用できなくなった場合に備えて設置されているもの。つまり、『**避難の最終手段**』

注意点 6つ

- ① 袋本体がねじれていないかを使用前に確認すること。
- ② とがった靴やゴム底など摩擦の大きい靴を履いての使用は控えること。
(袋内で引っかかりが発生し、降下に影響が生じるため。)
- ③ 足から降りること。
- ④ 原則、一人ずつ降下し、何人もが同時に降下しないこと。
(一人滑るだけで救助袋は揺れる。したがって同時降下すると、袋内で降下体制が崩れて危険)
- ⑤ 足を軽く曲げてお尻で滑るイメージを持つこと。
- ⑥ 左足のガイドラインを左腕でしっかり確保して滑ること。

3. 訓練の様子

訓練を通して、先に降下した先生が次に降下する先生の補助を率先して行うなど連携意識が深まっていました！



『実際に体験したい人はいますか？』の声掛けを行ったところ、なんと！最終的に、
参加者全員が手を挙げてくださり、全員が実施することになりました！ 😊

4. 総括

体感訓練の必要性

- ・救助袋等の正確な設置場所やその重さ、具体的な構造などは、実際に触ってみて初めて理解できる部分がある。
- ・実際に「触る」訓練を経験しておくことで、日常における危険や不備に気づき、危険を察知するアンテナが養われる。
- ・火災はいつどこで発生するかわからない。多様な出火箇所を想定した実践的な訓練を積み重ねることが重要である。

日常における意識の備え

- ・まずは火災を絶対に発生させない、そして万が一発生したとしても、パニックから子供たち全員を守り抜くを目的とする。
- ・日常の学校生活において、小さな危険のサインに対して、一人ひとりが敏感に気づく意識が必要。
- ・危険に気づいた際に、周囲と気兼ねなく声を掛け合い、すぐに協力できる「信頼の空気」を日頃から培っておく。



5. INTERVIEW その①

Q1 実際に訓練してみてどうでしたか？

実際に実感しなければ、使用する難しさ（設定にどれくらいのかかるのか等）は分からないため、今回の訓練を通して子どもたちへ自信を持って指導できる機会となり、とても良い経験となりました。

Q2 今後どのように活かしますか？

当事者意識を持って訓練を行いましょう！
もっとスーツと滑るイメージがありましたが、摩擦も強く靴を履いていたら引っかかることも体験できたので、有事の際は靴を脱いで降りる等を説明していきたいです。

【W先生へ（消防署から）】

設定訓練や降下体験を1番最初に手を挙げ、率先して実施して下さりありがとうございました！
今回の体験を、今後の防火防災に活かしていただくと幸いです。



W先生



5. INTERVIEW その②

Q1 実際に訓練してみてどうでしたか？

実際に降下してみて、思ったより恐怖心がありませんでした。この感覚は、自分の肌感として持っていた方がよいと思いました。有事の際に使用する際に、教職員が恐怖心を持っていたら子ども達にもそれが伝わるためです。

Q2 今後どのように活かしますか？

教員自身が怖くないという体感を持つ必要があると考えるため、本日の体験を基に周りの職員たちにも説明していきます。そして引き続き様々な状況を想定した訓練を継続していきます。

【副校長様へ（消防署から）】

この度は副校長様の早急な調整により、この機会が実現できました。本当にありがとうございました。

今回の訓練指導にも多くの先生が参加してくださり、学校全体が防火・防災に当事者意識を持った姿勢を目の当たりにし、すごく頼もしく感じました。今後とも、引き続き、防火・防災対策へのご協力をよろしくお願い致します！



副校長様

